

目 次

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	PtSi 赤外線カメラの開発と銀河中心領域の観測	上野宗孝 399
EUREKA 〈研究紹介〉	ブラックホール天体からのX線ゆらぎ 嶺重 慎・竹内 充・根来 均	408
天球儀 〈読物〉	天文教育をとりかこむ状況と対応策 —学習指導要領の問題点を考える— 理科教育課程改訂に向けて 宇宙地球誌における天文学	高柳悦夫 412 磯部 琇三 416 福江 純・赤石和幸・石井和彦 423
シリーズ	《ハイテクとおめがね事情(9)》 赤外シミュレータ	田中 济 426
書評	彗星の木星衝突を追って	428
雑報	1994 年度博士論文・修士論文タイトル一覧 天文天体物理若手の会 日本学術会議だより No. 37 より抜粋 第 11 回 (1995 年度) 京都賞受賞者に林 忠四郎京都大学名誉教授	429 434 435
寄贈図書リスト		435
月報だより		435
星空市場		438

表紙説明

銀河中心まで可視光で観測しようと思うと、30 等級に及ぶ吸収に阻まれ見通すことができない。しかし赤外線カメラを用いてやると、たった 25 cm の望遠鏡でこのように銀河中心の観測が可能になる。赤外線カメラの登場は赤外線の「窓」をさらにもう一度大きく開けなおしたと言ってよいだろう。

(SKYLIGHT 参照)

(表紙デザイン 藤居保子)